

まちプラス

まちづくり活動プラザ（以下まちプラ）は多世代交流・地域交流の場、そして“まちづくり活動の拠点”。

こどもから大人、シニア世代まで多くの方々が、居場所作りや健康増進など、それぞれの目的に合わせてイキイキと活動しています。民間事業者5団体、市の事業者4団体、まちプラの利用登録団体も含めて、実に多様な活動が活発に繰り広げられています。まちプラにはいろいろな“顔”がありますが、今回は環境（リサイクル活動）、福祉（福祉作業所の活動）に焦点をあててご紹介します。



203 わくわくはっぴー本棚

私たちは、障がい者とともに働くブックカフェと古本のネット販売を行っています。市民の皆さんからいただいた古本をきれいにし、ネットにアップしたり、ブックカフェの店に並べて販売しています。月～金の11時から15時まで営業して、お待ちしております。



204 ぼりりずむ

障がいをもつ方に仕事を提供する場所として、障がい者就労継続支援B型事業所を運営しています。お弁当やお菓子の製造販売をしています。お客様に美味しいと言ってもらえるよう頑張っています。また他の福祉団体さんと協同で小型家電の分解回収も行っています。



210 たすけあい はとぼっぱ

病気・けが・障がい・高齢等でお困りの方に家事や付き添いのお手伝いを有償ボランティアで行っています。「まちプラ」に事務所を置き、住民同士「困った時はお互い様」の気持ちで、現在20～70代の38名が和気あいあいと活動しています。担い手メンバー募集中です！



301 浦安介護予防アカデミア（スクエアステップ班）

スクエアステップは歩く脳トレとも言われ、ステップをしながら「見る」「覚える」「動く」ことにより、〈転倒防止〉〈体力の向上〉〈認知機能の維持・改善〉に効果的と言われていいます。楽しみながら脳と身体健康づくりをおこなっています。

■ 第4木曜日14:00～16:00



1・2階東棟 浦安青少年発達サポートセンター うらやす・そらいろルーム

発達障がいのある方や発達が気になる方とその家族に向け、専門性の高い相談や療育支援を浦安市独自の事業として行っています。

■ 対象：6～25歳ご本人及びその家族 ■ 開室：月～土曜日 9～19時 ※日曜日・年末年始は休室
■ 電話：047-316-1159



1階東棟 浦安委託相談支援事業 浦安市基幹相談支援センター

障がいのある方が地域で生活するための様々な相談援助を行う総合的なワンストップ相談窓口です。

■ 窓口開設時間：月～金 午前9時～午後7時、土午前9時～午後5時 ※相談員不在時は緊急携帯対応
■ TEL：047-304-8822 FAX：047-304-8833 ■ E-mail tomo-soudan3@patomo.jp



1階東棟 浦安市いちょう学級入船

市内在住の児童生徒の健やかな成長を願い、子供の不登校、学校生活やご家庭での悩みや心配事などに対して、公認心理師をはじめとする専門スタッフが「学習支援」「教育相談」「訪問相談」の3つの部門に分かれ、それぞれ連携しながら支援しています。

ご存知でしたか？

まちプラにはふたつの福祉作業所があります！

障がいがあってもなくても、みんなイキイキとこのまちで暮らしたい！

まちプラの階段を上って2階に進むと何だかいい香りが・・・。

右に進むと左手には大きな本棚があるカフェ～「わくわくはっぴ一本棚」が、そしてさらに進むと右手にはお弁当を作っている厨房～「ぼりりずむ」があります。障がいのある方々が、自分のペースで無理なく働きたいと、スタッフの皆さんと共に元気に働いています。実はこのふたつの事業所は、福祉の拠点でもありますが、リサイクル活動の現場も担っています。今号では、このふたつの作業所をご紹介します。

障がい者就労継続支援B型事業所(*1)



わくわくはっぴ一本棚

(労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団)

まちプラのお昼時、ここ、わくわくはっぴ一本棚(以下本棚)では、まちプラ多目的室で活動した方々が立ち寄ってランチやおしゃべりを楽しんでいます。カレーやパスタなど定番メニューは自慢の美味しさ。お客さん、利用者さん(*2)、スタッフさんがそれぞれの役割をこなし、本棚を運営しています。

そして、本棚にはたくさんの古本がズラリと並んでいます。写真集や旅行本、料理本、絵本、中には普段あまり見かけない趣味の本も。これらの本は、地域の方々が1階リサイクルステーションなどに持ち込んだもので、これを利用者さんがクリーニングし本棚やネットで販売しています。

本を提供する地域の方々、利用者さん、スタッフさん、地域と事業者がうまく緩やかに関わり合って成り立っている事業です。

「ここに来て働いているといろんな人に声をかけられるのが嬉しい」と話す利用者さん。常連さんとはおしゃべりも弾みがち。本棚では、今日もやさしい時間がゆったり流れています。



(*1) (*2) 障がい者就労継続支援B型事業所とは、雇用契約を結ばずに、障がいなどのある方が軽作業などを通じて生産活動の機会を得るための福祉サービス事業所。このサービスを受け働く人は「利用者」として、作業内容や出来高に応じて「工賃」を受け取ります。日数や時間も利用者の体調や希望に合わせて柔軟に設定できます。

障がい者就労継続支援B型事業所

ぼりりずむ



(NPO法人フレンズ)

赤いリュースのお弁当箱には美味しそうなメインのおかずに加えて副菜2品が詰められています。これはスタッフさん、利用者さんが協力して作っているお弁当で、まちプラ内で販売。他に市役所などに配達、販売されています。利用者さんとスタッフさんが二人一組で仲良く緑のエプロンをつけお弁当を配達している姿を時々見かけますよね。



一方、まちプラ1階リサイクルステーションの一角には小型家電の回収ボックスがあり、市から委託を受けた事業者(*3)でぼりりずむの運営主体でもあるフレンズさんが回収。利用者さんは2階の工房にて回収した携帯電話やゲーム機、コード類などを分類、分解します。

お弁当作りや小型家電の分解は、どちらも細かい作業で気を遣います。無理せず働くとはいえミスをしないよう一所懸命、作業に取り組む利用者さん、それを見守るスタッフさんも一緒になってやりがいのある場を作っています。

(*3) 小型家電回収事業者・・・NPO法人フレンズなど市内の福祉団体4事業者から成る福祉事業体が浦安市より回収事業を委託されています。公民館などに設置された回収ボックスに持ち込まれたものを定期的に回収、それぞれの事業所にて分類、分解しています。分解されたものは専門の業者に引き渡されます。

はとぼっぼサロン (たすけあいとはとぼっぼ) 「一緒にお昼を食べませんか！」 シニア中心にどなたでも参加できます



日 時：12/17 (水) 10:00～12:30
内 容：ゲストに昔話の語り部の方をお迎えします
場 所：まちづくり活動プラザ 3階第3多目的室
参加費：700円 (お昼代込み)
申込み締切：12/12 (金)
申込み&問合わせ：047 (352) 2058 ※月～金10時～16時
今後の予定：2026年3/11 (水)

楽しい! うれい! 3日間! 2025
まちフェス
12/5金6土7日 10:00▶16:00
まちづくり活動プラザ 第1・2・3多目的室
306・308・運動場
★ 手作りクリスマスケーキ
★ トールイベント
★ アロマソープ
★ 手作りクリスマスカード
★ 手作りクリスマスカード
★ 手作りクリスマスカード
★ 手作りクリスマスカード

リサイクルステーションスタッフ研修会開催！



まちプラ



ステーション

10月21日(火)14時～、リサイクルステーションにおいて、受付などを担当しているスタッフの研修会を行いました。

リサイクルの意義をあらためて学ぶとともに、この場所に地域の皆様がもっと親しんでいただくにはどうしたらよいか、活発な意見交換がなされました。

リサイクルステーションでは、月曜～金曜の午前10時～12時まで、まちプラにかかわる7つの市民活動団体のメンバーが交代で常駐し、リサイクル品を持って来てくださった方の質問にお答えするなどのご案内をしています。今回の研修は、普段は会う機会のない各団体同士の交流にもつながりました。



■回収を担当している団体より

回収品についての説明がありました。

ぼりりずむ（小型家電） 障がいのある方が分解して有用な部品を取り出している。

たすけあいとはっぽぼ（歯ブラシ） 集まった歯ブラシは再処理して植木鉢などに生まれ変わっている。掃除につかった歯ブラシでもOK。

まちなつと（エコキャップ） 分別・回収して再資源化し、その売却益で世界の子供たちにワクチンを届ける活動に参加している。おねがい洗って出してほしい。

ファイバーリサイクルうらやす（古着） 着られるものは海外へ送られ、その他はウエスなどに加工。おねがい汚れのひどいものはNG。寝具（含ベットパット）、キルティングも不可。

わくわくはっぴー本棚（古本） 障がいのある方が汚れ等を除いて、2階のブックカフェで販売している。その収益が工賃になる。あまりに古い本、汚れている本は修復が難しい。雑誌は集めていない。

スマイルこども食堂浦安（子ども用衣類と不用食品） 子ども食堂開催時に配っている。最初は関係のない物や不衛生なものもあったが、最近は改善され感謝している。

■意見交換

まずはリサイクル品をお持ちくださる皆様への感謝の声がありました。来所者とのなげない会話はスタッフのやりがいになっています。そして、今回スタッフ同士がお互いの活動やリサイクル事業の活用法を共有したことは、この場所の活性化につながっていきます。来年早々にはピーナスプラザがまちプラに移転してきます。この場所がもっと市民に知られ、楽しい場所になるようにしたいと思います。



「チーム530(ごみゼロ)」の大野さんのお話

まず、浦安で長くごみ問題とリサイクルの啓発活動に取り組んでいる「チーム530」の大野さんより、浦安のごみ事情についてお話がありました。

浦安のごみは、家庭ごみ6割、事業ごみ4割で、統計的には一人当たりのごみの量はやや減っていますが、削減目標にはまだまだ遠い状況だそうです。また、ごみ処理経費は年間約30億円、焼却灰処理費は約2億円もかかっているとのこと。ごみ減量は急務ですね。

ごみを減らさなければいけない理由は処理費用の問題だけではなく、さらに最終処分場も永久ではなく、そもそも地球の資源に限りがあることは言うまでもありません。

ごみが減らない理由は、いまの大量生産、大量消費にも大きな原因があります。買う時、使う時に立ち止まって考えてみるのが大事です。「リサイクルできるから」という安易な発想ではなく、まずごみをださないようにし、そのうえで、リサイクルが有効に機能することが大切なのだということがよくわかりました。

市の削減目標は「一人1日ゴルフボール2個弱（75g）の削減」だそうです！これならできそうな気がしますね。



12月 最初の週末はまちフェスで！
今年は3日間開催します！

日時：12/5(金) 6(土) 7(日)
10:00～16:00

場所：まちづくり活動プラザ
3階 第1・2・3多目的室、306, 308
運動場（雨天時体育館）

内容：ハンドクラフト作品展示販売
まちなつとギャラリー
焼き菓子・パン販売
心と身体のナチュラルセラピーなど



まちプラにピーナスプラザがやってくる！

オープンは2026年1月。楽しみですね！



千鳥地区、クリーンセンター再資源化施設4階にあるピーナスプラザが一部の工房を除き、まちプラ2・3階にお引っ越し！

- 再生自転車・小型家具の販売
- 再生可能な不用家具・自転車の引取
- 「ピーナスショップ」
- 「リサイクル教室」

地域に“エコな暮らし”が
どんどん広がっていくといいですね。



いつもご協力
ありがとうございます！

2025年4月から9月までの各回収量をご報告
いたします。

これまでに多くの方々にご協力いただき、古着古本など、
たくさんの方が捨てられずに有効活用されました。回収したものの
多くは、呼びかけ団体からそれぞれ次の加工業者へと送られリサイク
ルされます。

 古本:89件 2,565冊	 古着:339件 3111.8kg	 小型家電 60件	 歯ブラシ:42件 708本
 ボトルキャップ:121件 64kg	 子ども食堂への寄付 食品:24件 衣類:47件		



Q キルティングは出しても良いですか？
A 対象外になります。

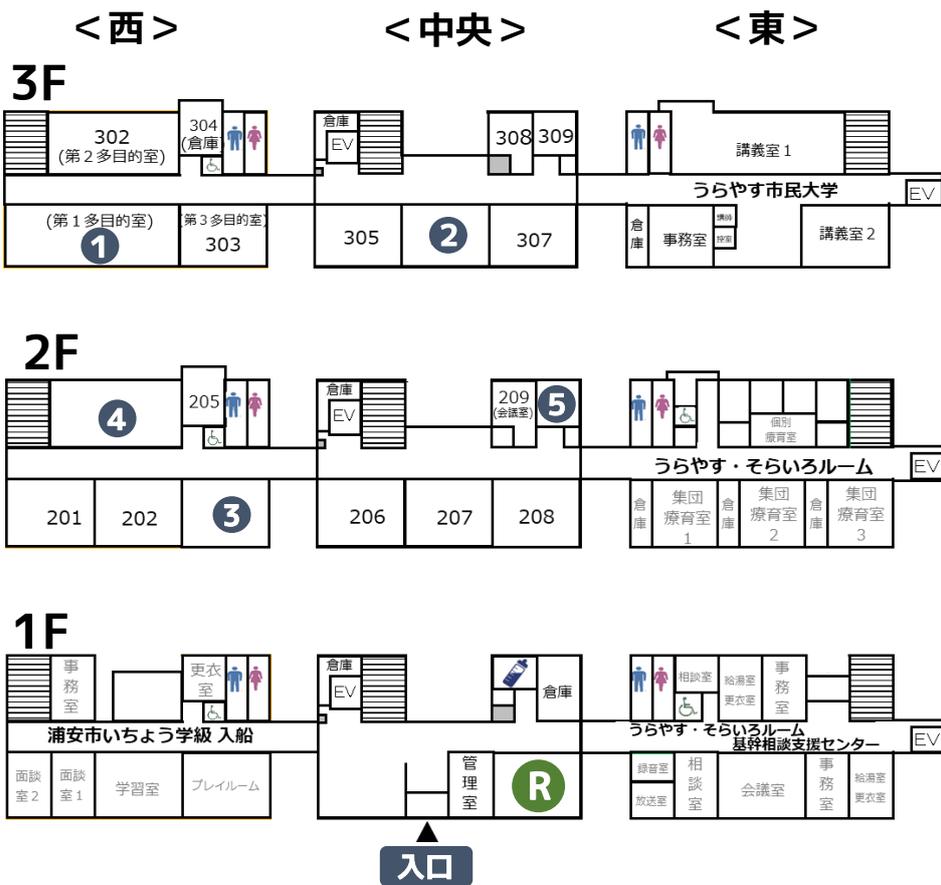
キルティングはNG。他にもハギレなど回収できないものも混ざって、その処理に手間がかかってしまうこともあるとか。ルールを守って、みんなが気持ちよくリサイクルの仕組みを継続させたいものです。

いくつかある回収品目の中でも持込件数、回収量ともに一番の古着。たくさんの方にご協力いただき感謝しています。「もったいない」と思う気持ちでみんながつながれば良いですね！

ポイントココ キルティングのように中に綿が入っているものはNG。お布団もダメ！でも一枚布のシーツやタオルケットなどはOKです

館内案内

- 3F-東 うらやす市民大学
- 1・2F-東 うらやす・そらいろルーム
- 1F-東 浦安市基幹相談支援センター
- 1F-西 浦安市いちょう学級 入船



- 1 301 (第1多目的室)
浦安介護予防アカデミア
- 2 306 まちねっとカフェ
シェアオフィス
- 3 203 わくわくはっぴ一本棚
- 4 204 ぼりりずむ
- 5 210 たすけあい はとぼっぼ
- R まちプラリサイクルステーション



発行：浦安市まちづくり活動プラザ・まちプラ連絡会

〒279-0012 千葉県浦安市入船5-45-1

TEL：047-713-2811

E-mail u.machinet@gmail.com

URL https://umachinet.wixsite.com/machi-pla

